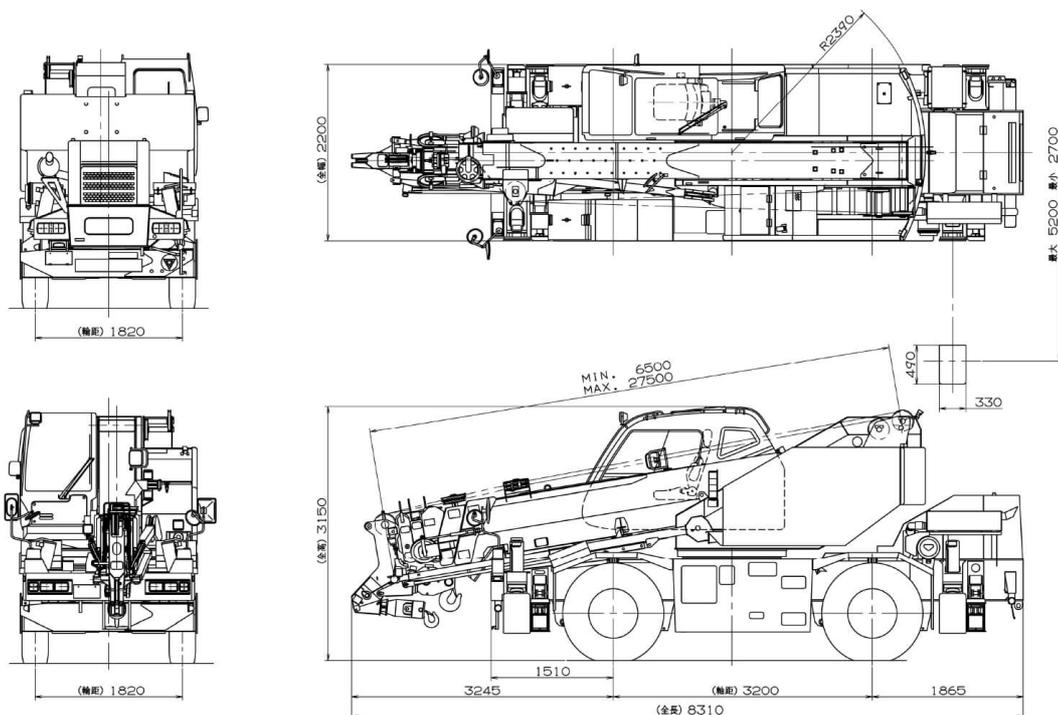


ラフテレーンクレーン: 最大吊上能力16t / GR-160N型

外観図



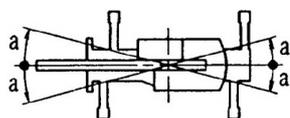
注意事項

アウトリガ使用時の注意

1. 定格総荷重は、水平堅土上においてクレーンを水平に設置した状態での値で、ブーム作業時はつり具と主巻フック質量（140kg）を、ジブ作業時はつり具と補巻フック質量（60kg）を含んだ値です。太線より上はクレーンの強度によって定められ、下はクレーンの安定度によって定められています。
2. 作業半径は、ブームのたわみを含んだ実際の値に基づいていますので、必ず作業半径を基準にしてください。
3. ジブの定格総荷重は、ブーム長さ23.3m以下と23.3mを超えた場合で異なります。
4. ジブ作業は、ブームの角度を基準にしてください。なお、作業半径は、23.3mおよび27.5mブームにジブを装着した場合の参考値を示します。
5. シングルトップの定格総荷重は、ブームの定格総荷重より80kgを差し引いた値とし、つり具と補巻フック質量（60kg）を含んだ値で、かつ限度は3.2tです。
6. 高速巻下げはフックのみを降下するときを使用してください。また、急激なレバー操作は避けてください。
7. 各ブーム長さにおけるフックのワイヤロープ標準巻掛本数は下表のとおりです。ただし、この掛数以外で使用する場合は、ロープ1本当たり主巻2.9t、補巻3.2t以下としてください。

ブーム長さ	6.5m	10.7m	14.9m	19.1m	23.3m	27.5m	ジブ/シングルトップ
巻掛本数	6	6	4	4	4	4	1

8. ジブにおけるフックのワイヤロープ巻掛本数は1本です。
9. 側方域でのつり上げ性能は、アウトリガ張出幅によって異なります。張出幅に応じた性能で作業をしてください。また、前方・後方域でのつり上げ性能は「アウトリガ最大張出」の定格総荷重ですが、アウトリガ張出幅によってその前方・後方域の範囲（角度a）が異なります。



張出幅	中間張出	中間張出	中間張出	最小張出
	(4.8m)	(4.4m)	(3.2m)	(2.7m)
角度a°	45	30	25	10

（表の角度a°は最小値を示しています。）

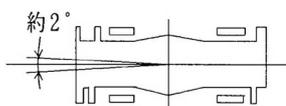
アウトリガ不使用時の注意

1. 定格総荷重は、水平堅土上においてタイヤのエア圧が規定圧（900kPa {9.00kgf/cm²}）で、かつ完全にサスペンションロックされたクレーンを使用するときの値で、ブーム作業時はつり具と主巻フック質量（140kg）を含んだ値です。太線より上はクレーンの強度によって定められ、下は安定度によって定められています。実際の作業では、地盤、作業状態等を考慮して使用してください。
2. 作業半径は、ブーム及びタイヤのたわみを含んだ実際の値に基づいていますので、必ず作業半径を基準にしてください。
3. 各ブーム長さにおけるフックのワイヤロープ標準巻掛本数は下表のとおりです。ただし、この掛数以外で使用する場合は、ロープ1本当たり主巻2.9t、補巻3.2t以下としてください。



ブーム長さ	6.5m	10.7m	14.9m	19.1m	19.1m ジブ／シングルトップ
巻掛本数	4	4	4	4	1

4.「前方」のクレーン作業は、AMLの「前方位置シンボル」が点灯している時に行ってください。前方の範囲は、ブームがキャリアの前方2°以内です。



5.シングルトップの定格総荷重は、ブームの定格総荷重より80kgを差し引いた値とし、つり具と補巻フック質量（60kg）を含んだ値で、かつ限度は3.2tです。

6.高速巻下げ作業、ブーム長さが19.1mを超えるブーム作業およびジブの使用はしないでください。

7.つり荷走行は、「駆動切換」スイッチを「L／4D」にし、シフトレバーを1速にして行ってください。

8.つり荷走行は、旋回ブレーキをかけ、荷が振れないように地面近くに保持し、1.6km/h以下で行ってください。特に急ハンドル、急発進、急ブレーキは避けてください。

9.つり荷走行中には、クレーン作業を行わないでください。

アウトリガ不使用

単位 (t) / A: ブーム角度の範囲 (無負荷時)

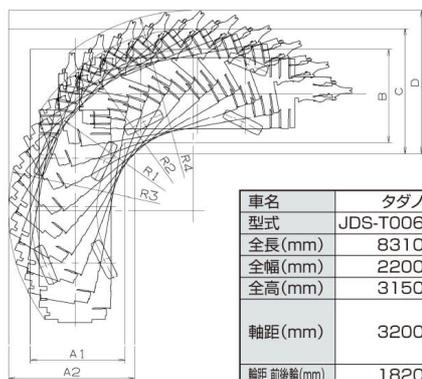
作業半径 (m)	車両静止時							
	6.5mブーム		10.7mブーム		14.9mブーム		19.1mブーム	
	前方	全周	前方	全周	前方	全周	前方	全周
3.0m	8	4.4	7.5	4.5	5.2	4.65	5	4.7
3.5m	7.7	3.5	7.5	3.65	5.2	3.7	5	4
4.0m	7.3	2.8	7.3	3	5.2	3	5	3.25
4.5m	6.6	2.2	6.4	2.4	4.75	2.35	4.55	2.6
5.0m	(4.4m)	(4.4m)	5.45	1.9	4.25	1.8	4.1	2.1
5.5m			4.6	1.5	3.8	1.4	3.7	1.7
6.0m			3.9	1.15	3.45	1.05	3.4	1.35
7.0m			2.95	0.6	2.6	0.5	2.8	0.85
8.0m			2.25		1.9		2.25	0.45
9.0m					1.4		1.8	
10.0m					1.05		1.4	
11.0m					0.75		1.05	
12.0m					0.5		0.8	
13.0m							0.6	
14.0m							0.4	
A (°)	0~82.5		25~82.5		0~82.5	51~82.5	35~82.5	60~82.5



作業半径 (m)	車両走行時 (1.6km/h以下)							
	6.5mブーム		10.7mブーム		14.9mブーム		19.1mブーム	
	前方	全周	前方	全周	前方	全周	前方	全周
3.0m	6.7	3.7	6.3	3.8	4.3	3.8	4.1	3.9
3.5m	6.5	2.95	6.3	3	4.3	3.1	4.1	3.35
4.0m	6.1	2.35	6	2.45	4.3	2.5	4.1	2.7
4.5m	5.5	1.85	5.4	2	3.9	2	3.75	2.15
5.0m	(4.4m)	(4.4m)	4.5	1.6	3.5	1.55	3.35	1.7
5.5m			3.8	1.25	3.2	1.15	3	1.35
6.0m			3.25	0.95	2.95	0.85	2.8	1.1
7.0m			2.45	0.45	2.15	0.4	2.45	0.7
8.0m			1.8		1.6		1.9	0.45
9.0m					1.2		1.45	
10.0m					0.85		1.1	
11.0m					0.6		0.85	
12.0m					0.35		0.6	
13.0m							0.4	
							0.4	
A (°)	0~82.5		36~82.5		0~82.5	55~82.5	40~82.5	64~82.5

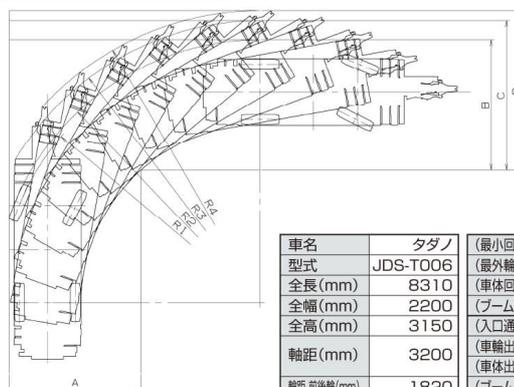
最小直角通路幅

4輪ステアリング



		単位(m)	
車名	タダノ	(最小回転半径) R1	4.80
型式	JDS-T006	(最外輪端回転半径) R2	4.96
全長(mm)	8310	(車体回転半径) R3	5.64
全幅(mm)	2200	(ブーム先端回転半径) R4	6.15
全高(mm)	3150	(車体入口通路幅) A1	2.88
軸距(mm)	3200	(車体入口通路幅) A2	3.85
		(車体出口通路幅) B	2.88
		(車体出口通路幅) C	3.85
軸距 前後輪(mm)	1820	(ブーム先端出口通路幅) D	4.40

前2輪ステアリング



		単位(m)	
車名	タダノ	(最小回転半径) R1	8.50
型式	JDS-T006	(最外輪端回転半径) R2	8.66
全長(mm)	8310	(車体回転半径) R3	9.28
全幅(mm)	2200	(ブーム先端回転半径) R4	9.61
全高(mm)	3150	(入口通路幅) A	4.30
軸距(mm)	3200	(車体出口通路幅) B	4.30
		(車体出口通路幅) C	4.92
軸距 前後輪(mm)	1820	(ブーム先端出口通路幅) D	5.25

株式会社タダノ様 [ラフテレーンクレーン仕様書] より転載 (無断複写転載禁止)

